

多治見高等学校 単位制への移行に関して

平成30年度入学生より、多治見高等学校は、進学重視型の全日制普通科「単位制」高校に生まれ変わります。

・まずは誤解のないように

単位制に移行しても本校が進学中心の普通科であることはこれまでと何ら変化はありません。また、本校の進路実績は国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校等、様々ですので、これまでも学年制の制約の中で特に文系を中心にできるだけ選択の幅を多くしてきました。単位制のもとで更に選択の幅を拡大し、例えば国公立大学受験のための学習が必要な人はそのための演習科目や発展的な科目を取り入れたり、また私立の芸術系に進学したい人に対しては、その人に応じた実技練習が十分にできるようにしたりして配慮しています。

・指導方針

- 1 生徒一人一人の適性や興味・関心に応じ、将来の進路を見据えた科目を選択し、主体的な学習を可能にします。
- 2 毎日の授業を通して、確かな学力を身につけさせるとともに、進学希望に応じた発展的・応用的な学習を可能にします。
- 3 少人数・習熟度別授業の積極的な導入により、「分かる」授業を展開し、学習効率を高めます。
- 4 進路ガイダンス、進路相談、キャリアガイダンスを充実させ、生徒が見通しをもって「自分の将来像」を描くことができるようにしっかりサポートします。
- 5 これまで引き継いできた多治見高校の伝統である学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を一層充実させ、豊かな人間形成を図ります。

～ 単位制に関するQ&A ～

Q 1 なぜ多治見高校は単位制になったのですか。

- A 一人一人の個性や適性を伸ばし、進路実現を図るなかで、今まで以上の特色と魅力ある学校にしたいからです。これからの社会は他者との協働を通して（コミュニケーション力）、自ら考え（探究力・創造力）、自ら行動し、問題を解決する（課題解決力）能力が必要とされます。そのためには、生徒が自分の生き方や将来を真剣に考え、主体的に学ぶことが必要です。そのためには「単位制」が必要だと考えたからです。



Q 2 単位制の高校はこれまでの学校とどのように違うのですか。

- A 多くの学校が採っている仕組みを「学年制」といいます。これは、あらかじめ決められた第1学年の課程を修了して第2学年に進み、同じように第2学年の課程を修了して第3学年に進むという仕組みです。これまでの多治見高校もこの仕組みでした。この仕組みの下では、各学年の終わりに合格点を取れない科目がいくつかあると、その学年の修了が認められず、原級留置（いわゆる落第）になります。一方で、単位制では「学年の課程」がなく、各学年では各科目の合格の認定だけが行われます。そして、3年間を通じて定められた単位を取ることができれば卒業が認められます。

Q 3 単位制といいますますが、そもそも単位とは何ですか。

- A 簡単に言えば、1週間に1時間（50分）の授業を1年間（年間35週）受けると1単位となります。よって、週2時間の科目は2単位、週3時間の科目は3単位となります。

Q 4 単位制というと自分の好きな教科・科目だけ選択すればよいというイメージがあるのですが。

- A その考えは違います。それでは卒業はできません。文部科学省が定めている必修科目は当然全て履修しなければいけません。また、本校では卒業するためには82単位という条件を定めています。また、Q5でも述べますが、本校は進学重視型の単位制となります。1, 2年生ではこれまでと同様、英語、数学、国語、理科、地歴・公民を中心とした学習をしっかりとってもらいます。3年生で自分の進路に応じた選択科目が多くなるというイメージです。

Q 5 進学重視型の単位制高校の特徴は何ですか。

- A 多治見高校では、特に3年次の授業の選択の仕方に大きな特徴があります。これまでと同じように、2年次では「文系コース」と「理系コース」に分かれます。3年次ではさらに生徒一人一人の進路に応じて様々な科目を選択することができます。例えば国公立大学を狙う人は、英語や数学において個別試験に対応できる発展的な内容を学ぶことができます。また、私立の文系を狙う人は英語の時間を多く取ることができます。さらに、芸術系を受験したい人は、芸術専門の授業を受けることもできます。単位制は最近ますます多様化する大学入試にきめ細かく対応できるという利点があります。

Q 6 授業の形態はどうなりますか。

- A 単位制の学校では、できるだけ生徒の希望する科目を開講することを尊重します。したがって、少人数でも学習できる環境を用意します。こうして、きめの細かく、質の高い授業を展開していきます。基礎・基本を重視し、生徒・教師間の双方向授業が期待でき、理解度の向上につながります。教科によっては習熟度別授業も導入します。しかし、時間割編成上の制約や先生の人数、あるいはあまりにも希望者が少ない場合など、科目を選び直してもらうこともあります。

Q 7 卒業の認定はどのようになっていますか。

- A 本校では、3年間の学習活動を通して、次の条件を満たせば卒業が認定されます。
- (1) 必修科目の全てを履修していること。
 - (2) 教科・科目の修得単位数が82単位以上であること。
 - (3) 特別活動（LHR, 学校行事等）の成果が満足できると認められること。

※履修とは：その科目の授業に出席し、学習活動を行うこと。出席状況が良好で、授業態度が良ければ、その科目の授業に参加したことが認められます。これを「履修」といいます。

※修得とは：学習している科目の「履修」が認められた上で、テスト等によりその科目の内容の理解が一定以上であると認められた時、「修得」が認定されます。「修得」がされて初めて「単位を取得」ということになります。

Q 8 3年間で必要な単位を修得できなかった場合はどうなりますか。

- A 当然ですが、その時点では卒業は認められません。次の年（4年次）に残った単位の修得ができれば卒業となります。

Q 9 単位制になってホームルームや学校行事、部活動はどうなりますか。

- A これまでと全く変わりません。本校の教育目標である「一人一人の文武両立」の精神はしっかり継承されます。毎週月曜日、木曜日は学習優先日、火曜日と金曜日は部活動優先日の方針に変化はありません。生徒会を中心に運営されるスポーツ交流大会や桔梗祭では若さを発揮して大いに盛り上がり、また部活動では、全国大会や東海大会へ進む部活動も多いのが本校の特徴でもあります。生徒一人一人の適性或進路に応じた教育ができる単位制の良さと、仲間とともに頑張り、思い出を作る場、そして社会性或協調性を身に付ける場をこれからも大切にしていきます。

